人間社会学部／心理コース	職名	教授	氏名	吉岡 和子

１．教員紹介・主な研究分野

2004 年 3 月,九州大学大学院人間環境学府博士後期課程（満期退学)。2007 年 2 月に九州大学より博士（人間環境学）の学位を授与されました。

臨床心理士として，医療機関（精神科)，保健福祉センター，学生相談室などに勤務後，2006 年 10 月に本学に着任しました。

主な研究領域は，①対人関係における自己表出の在り方②アサーショントレーニング・プログラムの実践③心理アセスメントを用いた本人や家族への心理的援助に関する研究です。

２．研究業績

① 最近の著書・論文

＜著書＞

・マハザド・ホジャット　アン・モイヤー（編）吉岡和子・田中健夫・細川理香・仲嶺実甫子・中園照美・吉田加代子・真﨑由美子・岩橋宗哉・児玉恵美・富田真弓（訳）宮崎弦太（解題）（2024)『友人関係の心理学: 生涯にわたる多様な友情の考察』金子書房

・吉岡和子（2023）春日由美・五十嵐　亮編（2023)『現場で役立つ教育相談入門 ： 子どもたちの幸せのために』第 4 章 第 3 節／第 12 章 第 1 節，4 節　北樹出版

＜論文＞

・水島侑子・吉岡和子（2024）対人的動機および非主張的な自己表現と精神的健康の関連について『福岡県立大学心理臨床研究』16，3-15.（査読無）

・守口典行・吉岡和子・小嶋秀幹（2024）老年期男性における年齢に応じた心理的適応方略の変化―国立大学農学部卒業者・国家公務員（農学系）退職者を対象にした調査『臨床心理学』24（2)，224-234（査読有）金剛出版

・山下雅子・中山政弘・後藤理恵・渋谷明子・豊田梨紗・中島亜矢菜・宮崎圭祐・吉岡和子（2022）「アウトリーチ型の子育て支援の意義と課題―COVID−19 禍の子育て支援―」『福岡県立大学心理臨床研究』14，35-43.（査読無）

・吉岡和子（2022)「ロールシャッハ法を味わうために」『福岡県立大学心理臨床研究』14, 57-75. （査読無）

・ Noriko Numata, Akiko Nakagawa, Kazuko Yoshioka, Kayoko Isomura, Daisuke Matsuzawa, Rikukage Setsu, Michiko Nakazato, Eiji Shimizu（2021)「Associations between autism spectrum disorder and eating disorders with and without self-induced vomiting: an empirical study」『Journal of Eating Disorders』9, Article number：5（査読有）

本田（藤原）沙貴・吉岡和子（2021)「大学生の自己愛的脆弱性と友人関係の在り方及び満足感」『福岡県立大学心理臨床研究』13，3-13.（査読有）

② その他最近の業績

<学会発表>

・Kazuko Yoshioka, Emi Kodama（2022）Drawings in Draw-Your-Family-as-an-Animal Test and Evaluation of Impressions of Self and Parent. ECP 2022, 17th European Congress of Psychology（5-8.July）online（Ljubljana, Slovenia）.

・福田恭介・早見武人・吉岡和子・田中直也・志堂寺和則・松尾太加志（2022）Go/No-Go 課題時の瞬目発生・抑制の発達的検討　第 40 回日本生理心理学会大会・日本感情心理学会第 30 回大会 合同大会 2022　2022.5.27～29（関西学院大学）

・福田恭介・吉岡和子・早見武人・松尾太加志・田中直也・志堂寺和則（2021）発達障害児・定型発達児における Go/No-Go 課題時の瞬目発生 第 39 回日本生理心理学会大会 2021.5.22～5.31　Web 発表（日本大学）

＜自主シンポジウム＞

「地域に出向く子育て支援と心理職の働き方支援ーそれぞれの社会課題にどう向き合うかー」（2021）日本心理臨床学会第 40 回大会　指定討論者

③過去の主要業績

＜著書＞

・髙橋紀子・吉岡和子編（2010）「心理臨床，現場入門：初心者から半歩だけ先の風景」ナカニシヤ出版.

・吉岡和子・髙橋紀子編（2010）「大学生の友人関係論：友だちづくりのヒント」ナカニシヤ出版.

＜論文＞

・吉岡和子（2007）「友人関係での自己表出における葛藤」『心理臨床学研究』24（6），723-728.

・吉岡和子（2002）「友人関係の理想と現実のズレ及び自己受容から捉えた友人関係の満足感」『青年心理学研究 』13，13-30.

３．外部研究資金

４．受賞

５．所属学会

日本青年心理学会　日本心理臨床学会　日本教育心理学会　日本ロールシャッハ学会（理事）
日本パーソナリティ心理学会　日本精神分析学会　九州心理学会（理事）

６．担当授業科目

＜学部＞心理実習 I・1 単位・2 年・通年（共同），心理学的支援法・2 単位・2 年・後期（共同），公認心理師の職責・2 単位・2 年・後期（分担），心理実習 II・1 単位・2 年・前期（共同），心理演習・2 単位・3 年・後期（共同），心理実習 III・1 単位・3 年・後期（共同），家族心理学（社

会・集団・家族心理学)・2 単位・4 年・前期，教育相談（幼児教育）・2 単位・4 年・前期（分担)，心理実習 III・1 単位・4 年・前期（共同)，演習・2 単位・3 年・通年，卒業論文・6 単位・4 年・後期

＜大学院＞家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践・2 単位・1・2 年・前期，臨床心理基礎実習 A・1 単位・1 年・前期（共同)，臨床心理基礎実習 B・1 単位・1 年・通年（共同)，臨床心理査定演習 II・2 単位・1 年・後期，臨床心理実習 I（心理実践実習 A)・10 単位・1-2 年・通年（共同）,臨床心理実習 II・1 単位・2 年・通年（共同)，心理実践実習 B・2 単位・1-2 年・通年（共同)，心理療法特論・2 単位・2 年前期（分担）特別研究 I・2 単位・1 年・通年，特別研究 II・2 単位・2 年・通年

７．社会貢献活動

・一般社団法人　福岡県臨床心理士会　事務局長
・日本ロールシャッハ学会　理事／教育・研修委員会委員、編集委員会委員
・一般社団法人　日本心理臨床学会　代議員
・一般社団法人　日本臨床心理士会　代議員
・九州心理学会　理事
・福岡県臨床心理士会・福岡県公認心理師会連絡協議会　事務局長
・NPO 法人九州大学こころとそだちの相談室　理事／相談員
・九州大学総合臨床心理センター　面接指導員
・福岡女学院大学大学院　心理査定委託相談員
・西九州大学臨床心理相談センター　研究員

８．学外講義・講演

・福岡県女性相談所 婦人保護事業新任者研修「DV 相談と支援」8 月 1 日
・福岡県立大学大学院心理教育相談室「ペアレントトレーニングを応用した特別支援教育スキルアップワークショップ」8 月 7 日
・北九州 LD 等発達障害親の会　すばる勉強会「アサーション」8 月 20 日
・福岡県市町村研修所「カウンセリング・マインド養成研修」9 月 20 日、21 日
・令和 5 年度福岡県配偶者からの暴力防止対策筑紫地域連絡会議「DV 相談と支援：相談の受け方について」12 月 20 日

９．附属研究所の活動等

＜心理教育相談室＞
・相談室室長
・相談室紀要編集委員会小部会
・お父さんとお母さんの学習室（ペアレントトレーニング）の企画と運営